

VAC Velocity Advanced Computer Type CZ

取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取付ける前及びご使用前に必ずお読みになつてください。
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

E89751-Z20020-00
2009年11月25日発行
Ver. 3-1. 01

はじめに

この度はHKS VAC TypeCZ BL3FWをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及びご使用する前に本書をお読みください。

商品名	VAC(Velocity Advanced Computer) TypeCZ BL3FW				
用途	自動車用スピードリミッター解除装置				
適合車種					
車名	車両形式	エンジン形式	年式	コードNo.	備考
MAZDASPEED AXELA	BL3FW	L3-VDT	'09.5~	45002-AZ008	※1

※1 AFS・RVM(リヤ・ピークル・モニタリング・システム) 非装備車

HKS VAC TypeCZは純正車両のスピードリミッターを解除する装置です。VAC TypeCZを付けることにより、180km/hを超えてもスピードリミッター制御が入らなくなり、サーキット走行時に非常に有効です。
VAC TypeCZはCAN通信上の車速データを、4パルスの車速信号に変換して出力するオプション出力機能を搭載しています。車速表示装置に接続することで、180km/h以上の車速の表示が可能となります。
一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転してください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみで使用可能です。本製品の仕様は付属品を含め、改良の為予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This product is designed for use in Japan only.
It must not be used in any other country.

目次

はじめに.....	1	異常・故障時の対応.....	6
目次.....	1	アフターサービスについて.....	6
安全上の注意.....	2	本製品の仕様.....	7
パーツリスト.....	2	譲渡等の際の注意.....	7
取付方法.....	3	用語の説明.....	7
取付終了後の確認.....	5	改訂の記録.....	7
故障と思う前に.....	6		
取扱方法.....	6		
維持・管理.....	6		

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業員又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

注意 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損) 拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば、車両破損及び焼損])

警告

- 本製品及び付属品が運転の妨げにならないように取付けてください。
運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けしないでください。
火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。
ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用しますと、感電や火災の原因となります。

注意

- 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対行なわないでください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線のないように取付けてください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
整備書がお手元ない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。
必要以上に締付けを行なうと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。

	1	本体	1		オスギボシ×4		オススリーブ×4
					メスギボシ×4		メススリーブ×4
	4	両面テープ	1枚		5	タイラップ	3本
					6	取扱説明書	1部

取付方法

1. 適合車種の確認

取付を行う車両が適合車であること、商品のコードNo. が取付を行う車両に合っていることを確認してください。

注意

- 適合車種以外への取付は絶対に行わないでください。
作動不良を起こし車両を破損する恐れがあります。適合車種以外に取付を行った場合に発生した、不具合や損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2. 取付に必要な工具の準備

取付作業には、下記工具が必要になります。作業を行う前に準備してください。

- ・スパナ10mm
- ・ソケットレンチ10mm
- ・ニッパ
- ・カシメ工具(推奨工具: HOZAN P-73)

3. PCMコネクタの取出し

3.1. バッテリー・PCM取付位置の確認



図1

エンジンルームの助手席側に、バッテリーとPCMがあります。図1を参考に、バッテリーとPCMの取付位置を確認します。

3.2. バッテリーマイナスターミナルの取外し

- ① 図1の位置よりバッテリーカバーを取外します。
取外しの際には、図2を参考にしてください。
- ② バッテリーのマイナスターミナルを取外します。

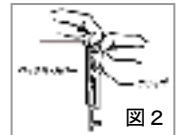


図2

3.3. PCMカバーの取外し

- ① 図1の位置よりPCMバッテリーカバーを取外します。
取外しの際には、ツメを破損しないように注意してください。

3.4. PCMコネクタの取外し

PCMコネクタは同形状の2つのブロックになっています。フロントバンパーを前方とすると、後方(車内側)のコネクタを取外します。
図3の①のロックを押し下げながら②のレバーを矢印の方向に倒し、PCMからPCMコネクタを取外します。

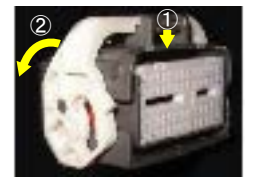


図3

4. 配線

4.1. 配線の確認

3で取外したPCMコネクタの形状が、配線図の形状と線色が同じであることを確認します。
取付方法は、4.4のギボシの取付方法を参照してください。

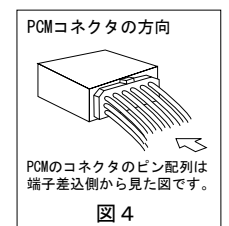
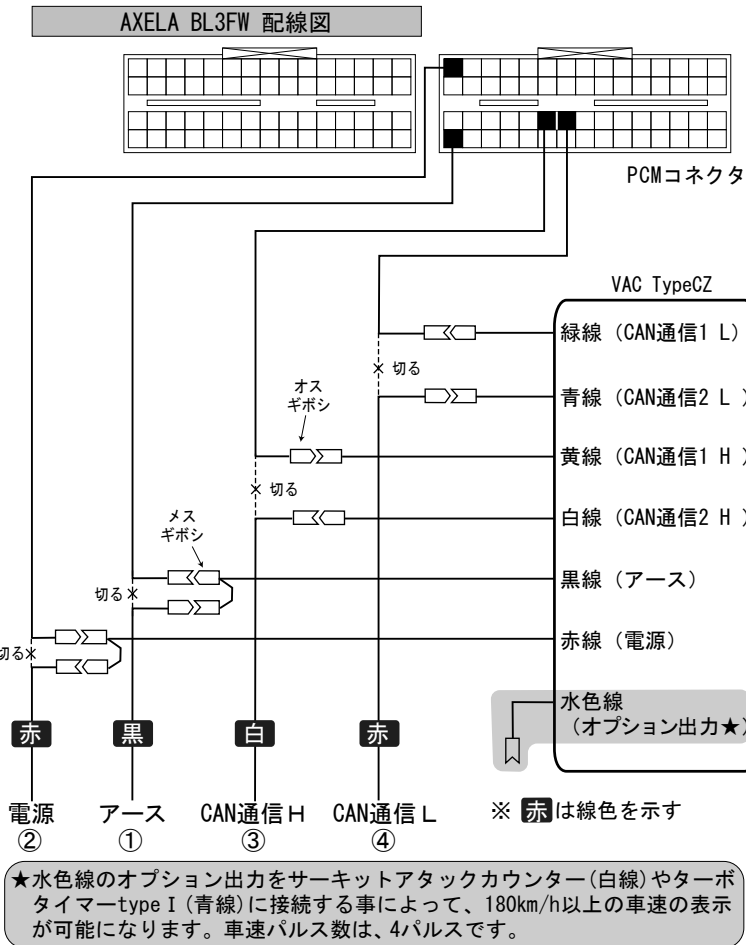


図4



4.2. 配線の手順

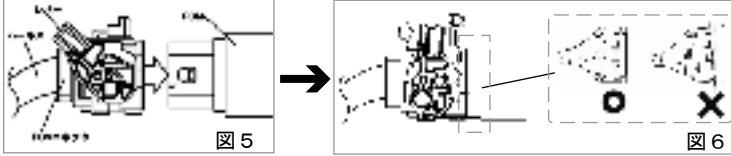
- ①アース線の配線
 1. 配線図よりアース線の位置・線色を確認します。
 2. PCMコネクタから50mm程度の位置で切断します。
 3. 2で切断した線のPCMコネクタ側にメスギボシを取付けます。
 4. 3をVACの黒色線のオスギボシに接続します。
 5. 2で切断した線の車両側にオス端子を取付けます。
 6. 5をVACの黒色線のメスギボシに接続します。
- ②電源線の配線
 1. 配線図より電源線の位置・線色を確認します。
 2. PCMコネクタから50mm程度の位置で切断します。
 3. 2で切断した線のPCMコネクタ側にオスギボシを取付けます。
 4. 3をVACの赤色線のメスギボシに接続します。
 5. 2で切断した線の車両側にメス端子を取付けます。
 6. 5をVACの赤色線のオスギボシに接続します。
- ③CAN通信線 Hの配線
 1. 配線図よりCAN通信線 Hの位置・線色を確認します。
 2. PCMコネクタから50mm程度の位置で切断します。
 3. 2で切断した線のPCMコネクタ側にオスギボシを取付けます。
 4. 3をVACの黄色線に接続します。
 5. 2で切断した線の車両側にメスギボシを取付けます。
 6. 5をVACの白色線に接続します。
- ④CAN通信線 Lの配線
 1. 配線図よりCAN通信線 Lの位置・線色を確認します。
 2. PCMコネクタから50mm程度の位置で切断します。
 3. 2で切断した線のPCMコネクタ側にメスギボシを取付けます。
 4. 3をVACの緑色線に接続します。
 5. 2で切断した線の車両側にオスギボシを取付けます。
 6. 5をVACの青色線に接続します。

[禁無断複写・転載] © (株)エッチ・ケー・エス

⚠ 注意

- 配線は確実に行ってください。
配線間違いや接触不良は、エンジン始動不良を起し、車両や関連機器を破損する恐れがあります。

4.3. PCMコネクタの取付

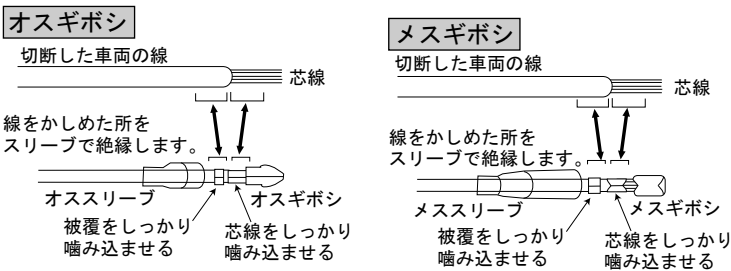


- ①PCMコネクタのレバーがハーネス側に倒れていることを確認します。(図5)
- ②PCMに当たるまでPCMコネクタをまっすぐ押し込み、レバーが自然に起き上がることを確認し、レバーをカチッと音がするまで押します。(図6)

⚠ 注意

- PCMコネクタはまっすぐに正しく挿入してください。
PCMコネクタが斜めに挿入された状態で、レバーを動かすと、コネクタ本体が破損する恐れがあります。

4.4. ギボシの取付方法



5. 固定方法

- ①. VAC本体・配線に水がかからない、バッテリーカバー裏等を選びます。
VACの配線にはストレスがない事を確認します。
- ②. ①の位置の汚れ(ほこりや油分等を中性洗剤等で取り除きます。
- ③. 両面テープを使用し、VACを固定します。
- ④. タイラップを使用し、VACの配線を車両ハーネスに固定します。



⚠ 注意

- VAC本体や配線に水がかからない場所である事を確認してください。
水がかかる場合、動作不良や車両・関連機器を破損する恐れがあります。

6. 取付後の作業

- (1)取外した部品を元通りに取付けてください。
- (2)バッテリーのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。

取付終了後の確認

本製品の取付後、下記の項目に従って、取付作業に間違いのないことを確認してください。

1. エンジン始動前の確認

確認項目	確認
配線及び取付けた部品が、他の部品と干渉していないか。	
配線は確実に固定されているか。	
バッテリーのマイナス端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	

2. エンジン始動後の作業

確認項目	確認
エンジンチェックランプは点灯していないか。	
配線は引っ張られていないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでいないか。	

以上で、取付作業は終了です。

- 作業の方へのお願い
取付作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、次の項目を確認してください。このとき、専門業者に本書を渡してください。

確認項目	確認
取外した部品は元通りに取付けされているか。	
配線位置は合っているか。	
配線色は合っているか。	
中継ハーネスは指示通りに取付けされているか。	
ギボシは確実に接続されているか。	

- ・エンジンチェックランプが点灯し、エンジンが始動しない場合には、配線箇所・配線色が合っているか確認してください。

取扱方法

1. 整備、点検、車検等の為、ディーラーなどに車両を出す場合は、必ずVACを取外し、電源線・アース線、CAN通信H線・CAN通信L線に取付けたコネクタまたは、ギボシをそれぞれ接続してノーマル状態に戻してください。
2. 一般公道では交通ルールを守り、安全運転してください。

維持・管理

⚠ 注意

- VACやギボシ接続部に水がかからないようにしてください。
VACやギボシ接続部に水がかかると、動作不良を起し、VACや車両を破損する恐れがあります。
- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

- 快適に運転していただくために、必ず日常点検を行なってください。
- 汚れやオイルのついた手でVACに触れないでください。
ケースが変色する恐れがあります。

異常・故障時の対応

⚠ 注意

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止してください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、保証書に必要な事項等が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ専門業者に修理を依頼してください。

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

本製品の仕様

- 作動電圧..... DC10~16V
- 動作可能温度..... -20~75℃
- 最大消費電力..... 4W

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために本取扱説明書等と一緒にお渡しください。
本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

⚠ 注意

- 本製品を取外した後、車両側の線は必ずコネクタまたは、ギボシを接続し、もとのノーマル状態に戻してください。
ショートによって電装部品を破損・焼損する恐れがあります。

用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
メーカー : 車両の製造会社。
整備書 : メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
点検・整備 : 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行ってください。
ノーマル車両 : 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことがない、以上の条件を満たす車両。
PCM : 車両のエンジンコントロールユニット。
誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
電装部品 : 車両の電気・電子部品。
MT : マニュアルトランスミッション車。
AT : オートマチックトランスミッション車。
MRCC : マツダレーダークルーズコントロールシステム

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2009/11	初版